



学校だより

令和7年4月7日

東京都立小平特別支援学校

校長 鈴木 愛

肢体不自由教育部門・病弱教育部門(病院訪問部) 〒187-0035 小平市小川西町 2-33-1 TEL 042-342-1671

病弱教育部門(センター病院内分教室部) 武蔵分教室 〒187-0031 小平市小川東町 4-1-1 国立精神・神経医療研究センター病院内
TEL 042-344-4537

令和7年度のスタートです！

学校の周囲は満開の桜が咲き誇り、暖かい日差しが降り注いでいます。

4月、希望に満ちた春の訪れとともに令和7年度のスタートです。

私は昨年度に引き続き、小平特別支援学校の校長を務めます、鈴木 愛(すずき やすし)と申します。本校に着任して2年目になります。素直でかわいい子供たち、いつも協力的な保護者の皆様、子供たちのために一生懸命働く教職員…。小平特別支援学校が大好きで、今年度もこの学校で働けることを本当にうれしく思います。どうぞよろしくお願いいたします。



● 入学・進級おめでとうございます。

新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。新しい仲間との新しい学校生活のスタートですね。不安なこともあるかもしれませんが、早く慣れて様々なことにチャレンジしていきましょう。在校生の皆さん、進級おめでとうございます。先輩として新入生の良い見本となれるように頑張りましょう。

肢体不自由教育部門は46名の新入生を迎え、全校で169名の児童・生徒が在籍します。また、病弱教育部門は1名の新入生を迎えて14名からスタートし、今後転入してくる多くの児童・生徒を迎えることとなります。

● 小平特別支援学校を支えるスタッフ

小平特別支援学校には数多くのスタッフが在籍しています。校長、副校長が4名、教育指導系職員(主幹教諭、主任教諭、主任養護教諭、教諭、養護教諭、非常勤教員、主任学校介護職員、学校介護職員、病弱教育支援員)が170名、行政系職員(経営企画室長、主任、主事、栄養士、看護師、技能職、バスクラーク、SB安全運行支援員、障害者雇用支援員、副校長マネジメント支援員)が22名の総勢196名です。この4月、他校からの転入や新規採用で48名の新しい仲間を小平特別支援学校にお迎えしました。この196名のスタッフが連携し、「チーム小平」として、児童・生徒の皆さんの学校生活を支えてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

● 今年度の研究活動について～ICTを有効活用した授業づくり～

令和3年に発表された中央教育審議会答申『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して』では、「全ての子供たちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを実現するためには、ICTは必要不可欠なものである」と謳われています。また、先日発表された「東京都教育施策大綱」の中でも「デジタルを活用した学びの転換」として

「子供がICTも活用しながら学びのプロセスを自ら決定する授業」の大切さが強調されています。今、教育の世界においてICTの活用は時代の大きな流れになっています。肢体不自由や病弱の障害がある本校の児童・生徒にとっても、ICTやAT(支援技術)を活用することで、認知機能や運動機能、意思の表出、コミュニケーションなどの面において、様々な効果や可能性が期待できます。今年度は、そんなICTを使って児童・生徒の可能性を引き出していけるような授業づくりについて、外部講師の指導もいただきながら研究を進めてまいります。研究経過などは保護者会など折に触れ、保護者の皆様にもお伝えいたします。



● 目指す学校と教育目標

小平特別支援学校の目指す学校像は「自分のよさや可能性を認識し、主体的に未来社会を切り拓くための資質・能力を確実に身に付ける学校」です。そして、これを実現するために、「健やかな体」「確かな学力」「豊かな人間性」「協働と社会性」の4つの柱を教育目標として掲げています。これらの4つは私たちが人生を豊かに生きていくための土台となる大切な力です。これらの力を一人一人の児童・生徒の課題に合わせてバランスよく身に付けていけるよう、教職員一丸となって日々の教育活動を進めてまいります。保護者、関係諸機関、そして地域の皆様の御理解と御協力を、心よりお願い申し上げます。

校長 鈴木 愛